

西脇ふれあいのまちづくり協議会 地域おたすけガイド

令和 3 年 2 月作成

西脇地区防災福祉コミュニティ

目次

- 1 はじめに・・・ p 3
- 2 基本情報・・・ p 4
- 3 ハザードマップ・・・ p 5
- 4 活動組織表・・・ p 6
- 5 防災資機材庫（リスト表）・・・ p 7
- 6 地震 対策編・・・ p 8
- 7 風水害 対策編・・・ p 11



1 はじめに

- (1) 地域おたすけガイドは、地域の皆さんが災害時に活動する際に、活用するものです。災害時は、周囲の状況をよく確認し、**自らの安全を確保し、無理をせず、自分たちのできる範囲**で活動を行うことが大前提です。
- (2) 皆さんの災害時の活動をより効果的にするために、これまでに各地域で取り組まれた優良事例を参考に、この地域おたすけガイドを作成しました。
- (3) しかし、この地域おたすけガイドに記載している内容は完全ではありません。
- (4) ぜひ、皆さんの防コミで訓練を通して繰り返し検証して、地域に適したガイドにするために、どんどん見直していきましょう。

自助

自らの生命は
自らが守る
(自分・家族)

共助

自分たちのまちは
自分たちで守る
(防コミ・自治会・近所)

公助

行政機関等が
まもる

2 基本情報

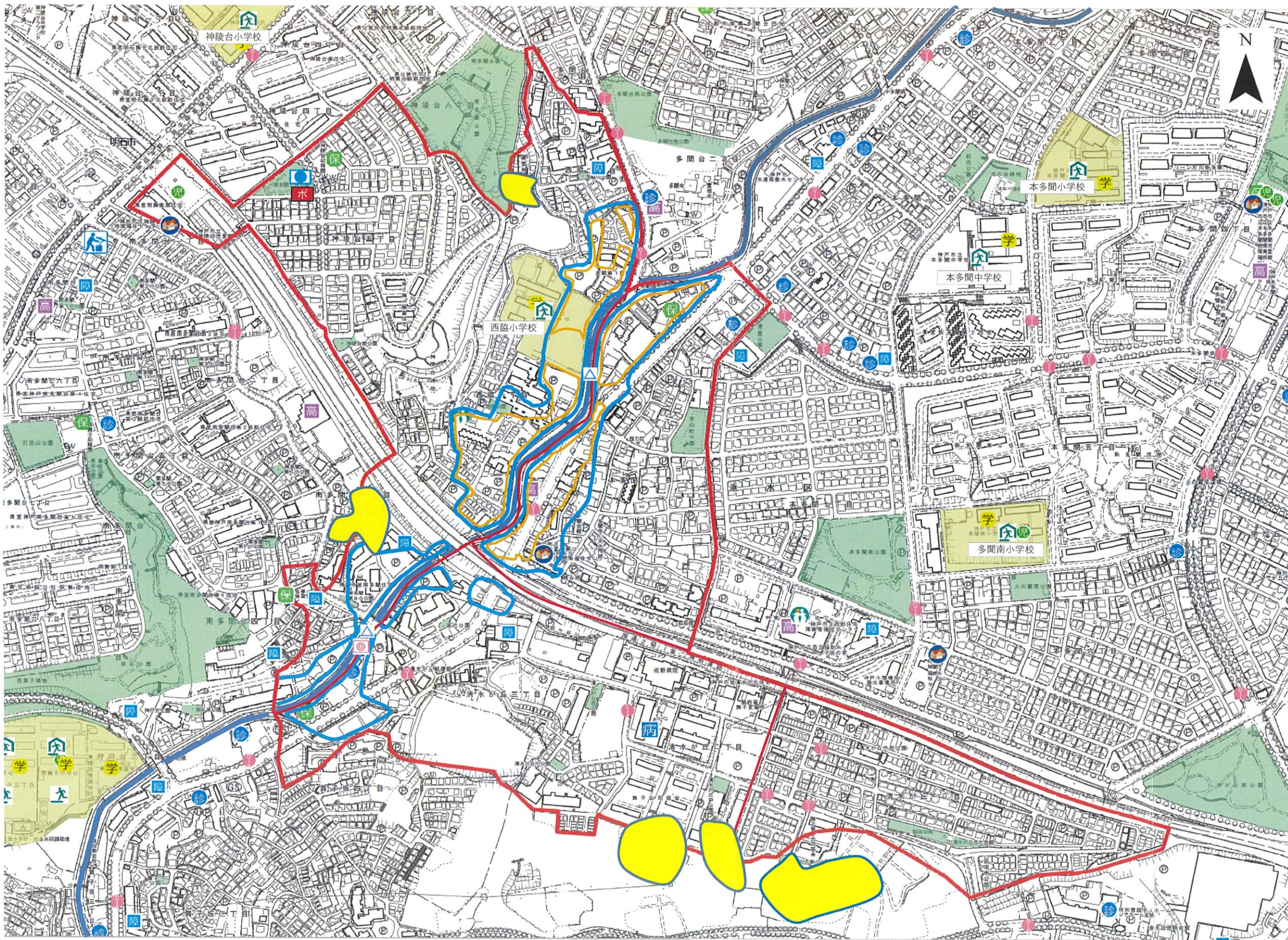
(1) 運営本部の設置基準

- ・ 震度 5 強以上の地震または地震により被害が拡大する恐れがある場合
- ・ 気象情報・避難情報等により、大規模な被害が発生すると予想され、役員が協議し必要と判断した場合

(2) 役員参集場所、避難所等一覧

防コミ運営本部	西脇地域福祉センター (垂水区本多聞 1 丁目 5 - 4) ☎785-2524	
防災資機材庫	西脇地域福祉センター	狐坂公園 (垂水区清水が丘 1 丁目 6)
緊急避難場所 (屋内)	西脇小学校 (垂水区西脇 1 丁目 8 - 6) ☎781-9531	
	本多聞小学校 (垂水区本多聞 4 丁目 4 - 1) ☎784-4477	
	本多聞中学校 (垂水区本多聞 2 丁目 1 6 - 1) ☎784-6310	
	神陵台小学校 (垂水区神陵台 3 丁目 1 - 1) ☎781-3843	
	神陵台中学校 (垂水区神陵台 3 丁目 1 - 2) ☎781-0700	
	星陵台中学校 (垂水区星陵台 4 丁目 3 - 3) ☎709-8810	
緊急避難場所 (屋外)	西舞子小学校グラウンド (垂水区狩口台 3 丁目 1 - 2)	
	舞子墓園 (垂水区舞子陵)	
耐震性防火水槽 可搬式ポンプ 設置場所	南多聞三角公園 (垂水区神陵台 5 丁目 7)	

3 ハザードマップ



-  屋内緊急避難所
 -  屋外緊急避難所
 -  地域福祉センター
 -  あんしんすこやかセンター
 -  学校
 -  児童館・学童保育
 -  幼稚園・保育施設
 -  病院
 -  診療所
 -  高齢者に関わる施設
 -  障害児・者に関わる施設
 -  公共公益施設
 -  バス停
 -  小学校
 -  公園
 -  地域の範囲
 -  年に1/1000の確率で降雨により浸水する最大規模の想定個所。0.5m未満
 -  年に1/30~1/100の確率で降雨により浸水する個所。0.5~3.0m未満
 -  土砂災害警戒区域（急傾斜）
 -  耐震性防火水槽
 -  可搬式ポンプ
 -  災害時給水拠点。
 -  AED
 -  量水標
 -  河川モニタリングカメラ
- 

**携帯版神戸市
河川モニタリング
カメラシステム**

作成年月日：令和2年9月12日
 参考データ：神戸市ホームページ
 地域の基礎データ（垂水区西脇地区）

5 防災資機材庫(リスト表)

資機材庫名	福祉センター庫	狐坂公園庫
鍵保管場所	センター内	センター内及び嶋村
鍵保管者	センター内	センター内及び嶋村

福祉センター鍵保有者 委員長、副委員長

用途	品名	個数		用途	品名	個数	
		福祉センター	狐坂公園			福祉センター	狐坂公園
消 火 用	訓練用オイルパン	4		そ の 他	ヘルメット	15	15
	水消火器	5			腕章	30	
	消火器(粉末)	3			携帯用電灯	3	3
	布バケツ	40			トランジスタメガホン	1	1
					広報・訓練用拡声器	1	
					サルベージシート	10	10
					携帯用発電機	1	1
					台車	1	1
救 助 用	スコップ	5	5		一輪車	1	1
	バール	3	3		はしご兼用脚立	1	1
	折りたたみのこぎり	4	3		コードリール	1	1
	のこぎり	3	2		投光器(三脚付き)	1	1
	オノ	1	1		ガソリン携行缶(4.5ℓ)	1	1
	ハンマー	3	2		収納庫(中)	1	1
	簡易ジャッキ	2	2				
	ツルハシ	3	2				
	ボルトクリッパー	1	1				
	折りたたみ担架	1					
	とびろ	2	2				
	救助用ロープ	1					
	チェーンソー	1	1				

6 地震 対策編

地震発生直後の安全の確保

- 火を使用している場合は、可能な限り火を止める。
- 地震の揺れを感じたら、まず、丈夫なテーブルの下に隠れるなど、身の安全を確保する。
- 家族の安全を確認する。
- 火災が発生すれば消火器等で初期消火を行う。
- ラジオなどで情報の確認。

防災福祉コミュニティとしての活動

○防コミ運営本部の立ち上げ

- 防コミ運営本部に役員が揃わないことが予想されるが、集まったメンバーで本部を立ち上げる。
- 本部に地域の地図、防災マップなどを配置する。また、メンバーで情報を共有するためホワイトボードや模造紙を準備する。

○情報収集・伝達・安否確認

- あらゆる手段を用いて地区内の被害情報を収集する。
※「情報収集ツール一覧」(p 10) 参照
- 収集した情報を、掲示板等を活用し発信する。
- 民生委員等と協力して、自力で避難が困難な人の安否確認を行う。
* ドア等に安否確認済みの目印をつける、安否不明者宅に連絡票を張るなどによる区別も効果的です。

○救出・救護／消火活動（無理をしないで２人以上で行動する）

- 二次災害に注意しながら防災資機材を使用し、負傷者を救出する。
- あらゆる消火器具等を活用し初期消火を行う。
- 被災者が負傷している場合は、止血等の応急手当を実施し、医療機関に搬送する。

○区や消防署への連絡

- 被害情報、活動情報等を区役所や消防署に連絡する。

各行政機関連絡先	
垂水区役所	708-5151
垂水消防署	786-0119
垂水警察署	781-0110
垂水建設事務所	707-0234



○緊急避難場所・避難所の開設

- 学校関係者や区役所職員と協力して緊急避難場所・避難所を開設する。

○情報収集ツール一覧

テレビ・ラジオ から

テレビのデータ放送 リモコンの**dボタン**を押すと情報が表示されます。

ラジオ放送 テレビが見られないときでも情報を入手できます。

PC から

神戸市ホームページ トップページ (<http://www.city.kobe.lg.jp/>) の「災害情報」から 情報を確認できます。

KOBE 防災ポータルサイト SONAE to U? トップページ (<http://www.kobe-sonae.jp/>) の「緊急災害情報」「気象情報」から、情報を確認できます。

電話によるお問合せ から

災害テレホンセンター **0570-078500**への問い合わせで**ガイダンス**により、防災行政無線の放送内容などの情報を確認できます。※通話料金がかかります。(無料通話等の対象外)

無線スピーカー・専用端末 から

防災行政無線 市内の**防災行政無線スピーカー**から屋外にいる方にむけて情報が発信されます。
※気象条件や構造物の影響で聞こえにくい場合があります。

防災情報サービス J:COMの提供する**専用端末**から防災行政無線の放送内容がリアルタイムで送信されます。※有料サービス

携帯・スマホ から

緊急速報(エリア)メール 対象エリア内におられる方の携帯電話に**メール(通知)**で情報が配信されます。
※一部対応していない機種があります。

ひょうご防災ネット 登録(☆)している方に**メール**で情報が配信されます。

Yahoo! 防災速報 スマートフォンアプリ(◇)で、事前に選択した種類の情報が**通知**されます。

KOBE まちの安全・安心アプリ ~かもめんnavi~ スマートフォンアプリ(◇)で、災害情報が**通知**されます。※リニューアルを予定しています。

☆ひょうご防災ネットの登録：<http://bosainet/kobe/>から登録できます。

◇アプリのダウンロード：App StoreまたはGoogle Playからアプリをダウンロードできます。

7 風水害 対策編

事前の備え

- ・ ニュースを確認する
- ・ 自宅避難する場合に備え、食料を用意しておく。また「2階の崖と反対の部屋」「雨戸がある部屋」など避難する部屋を決めておく

警戒レベルと対応する行動

水害・土砂災害の防災情報の伝え方が変わります

逃げ遅れゼロへ!

防災情報はいろいろあるけど
いつ避難すればいいの?

警戒レベル 4 で全員避難!!

[警戒レベル]で避難のタイミングをお伝えします。

2019年の出水期(6月ごろ)より、
[警戒レベル]を用いた
避難情報が発令されます。
市町村から[警戒レベル3、4]が
発令された地域にお住まいの方は、
速やかに避難してください。

警戒レベル	1	2	3	4
警戒レベル	1	2	3	4
対応	心構えを 高める (気象庁が発表)	避難行動の 確認 (気象庁が発表)	避難に時間を 要する人は避難 (市町村が発令)	安全な場所へ 避難 (市町村が発令)

危険な場所から
全員避難!

危険な場所から
高齢者等は
避難!

[警戒レベル5](市町村が発令)は既に災害が発生している状況です。

○指示書（役割を指示する場合に使用する）

情報収集・伝達

- 1 ラジオ、テレビ、防災行政無線等で地震情報等の収集を行う。
- 2 地域内の災害情報を把握する。

情報収集・伝達手順

- 1 情報収集
収集した情報は、ホワイトボード等に時系列で記載する。
 - (1) ラジオ等での情報収集
通信手段が確保されている場合は、ラジオ、テレビ、防災行政無線のほか、電話等も活用する。
 - (2) 行政からの情報収集
各種機関へ直接連絡を取り、必要な情報を収集する。また、定期的に区役所等に出向くなどして、公開されている情報を収集する。
 - (3) 各ブロックからの情報収集
- 2 情報伝達
情報を伝える手段として、ハンドマイク、広報掲示板、回覧板も効果的に活用する。

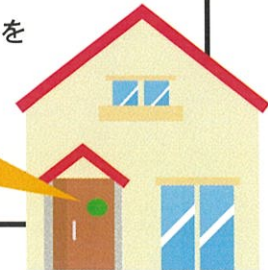
安否確認

- 1 安否確認情報の収集
- 2 安否不明者の確認
民生委員等と協力し安否確認を行う

訪問先での確認手順

- 1 外観の確認
建物に甚大な被害がないかを確認してください。
- 2 声かけ・呼びかけ確認
門の外側で大きな声で呼びかけ、安否を確認する。
- 3 ドアをノックする
応答がないときは、呼びかけと一緒にドアをノックしてみてください。
- 4 庭、勝手口等の確認
状況が把握できないときは、庭、勝手口などの確認をしてください。
- 5 確認シール貼付
確認した状況に応じて、玄関ドアにシールを貼付してください。

必ずドアの
右上部付近
に貼付



シールの色分け

- 救助支援の必要あり
- 安否確認できず
- 確認済み・支援の必要なし

救出・救護活動

- 1 防災資機材（ジャッキ、のこぎり、ボール等）を活用し、協力して救出活動を行う。
- 2 救護（応急手当）を実施する。

救出・救護手順

- 1 被害の実態把握
 - (1) 倒壊建物に取り残されている人がどのような状態か（けがの程度も含めて）確認する。
 - (2) 建物の倒壊状況および内部に進入するスペースがあるかを確認する。
 - (3) 二次災害が発生する危険要因がないか確認する。
- 2 二次災害の防止
 - (1) 木片、トタン、ガラス等の軽量物を除去する。
 - (2) 柱、梁等の大きな物の周辺物を除去するときは、これらの大きな物がずれたり、倒壊しないようにロープ等で支持、固定する。
 - (3) 火災の発生に備え、消火器や水バケツを用意する。ガスの元栓や電気のブレーカーは早期に閉止や遮断を行う。
- 3 要救助者の救出
 - (1) 要救助者の近くまで掘り進んだ後は資機材を使わずに手作業にする。
 - (2) 要救助者を無理に引き出そうとしない。
- 4 応急手当
出血しているときは清潔なガーゼ等で傷口を圧迫止血する。
- 5 情報伝達
広報掲示板を活用する。

消 火 活 動

- 1 耐震性防火水槽の小型動力ポンプ等を活用し初期消火を行う。
- 2 出火場所を確認し、消火活動人員を割り振る。

消火活動手順

- 1 消火用水の選定
 - (1) 火元に近い消火用水を選定し、強風時には風上側の消火用水を使うなど風向きに注意する。
 - (2) 河川使用時はストレーナーを水の流れに向けて投入し、浮かび上がらないようにする。
 - (3) ポンプから水面までの高低差は、4m以内を目安とする。
- 2 ホースの延長要領
 - (1) 道路、建物の曲がり角では大きく曲げて、折れやねじれ、引きずりを避ける。
 - (2) ホースの結合は漏水しないように確実にを行う。
- 3 送水の時期
 - (1) ホースの延長状況や筒先担当の「放水始め」の合図があってから送水する。
 - (2) 放口コックを開けるときは筒先の反動力を考え徐々に行う。

避難世帯リスト

	世帯主氏名	住所(垂水区以降の住所)	男性(人数)	女性(人数)	合計(人数)	到着時刻	帰宅時刻
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							

※ 垂水区以外の避難者は都道府県名から住所を記入すること
 ※ 避難者が20世帯を超える場合は2枚目以降に記入すること

調査票No.()

避難者調査票

取扱注意

※太枠部分は必ずご記入ください。他の記載欄は職員が記入します。

緊急避難場所名 ()

①記入時点	年 月 日 時 分	②入所日	年 月 日
③代表者氏名		氏名	
④住所	〒 -	⑧親族などの連絡先	〒 -
		住所	
		連絡先	() -
⑤電話番号	() -	⑨自宅の被害状況	<input type="checkbox"/> 全壊 <input type="checkbox"/> 大規模半壊 <input type="checkbox"/> 半壊 <input type="checkbox"/> 一部損壊 <input type="checkbox"/> その他()
⑥電話番号(携帯)	() -	⑩避難場所	<input type="checkbox"/> 建物内() <input type="checkbox"/> 車中泊(避難場所敷地内) <input type="checkbox"/> 持参テント(避難場所敷地内) <input type="checkbox"/> その他()
⑦車種・色・ナンバー			

⑪避難場所滞り理由

ライフライン不通(電気・ガス・水道・電話) 余震が不安
自宅の片づけができない 必要な物資が手に入らない
その他()

⑫家族構成など		⑬以下に該当するものがあれば項目を○で囲ってください	⑭健康状態確認・備考欄(病気や食物アレルギーなど)
フリガナ氏名	年齢続柄		
代表者		ア. 要介護3以上 イ. 障がい(身体・知的・精神・発達・内部) ウ. 難病 エ. 妊産婦・乳幼児	<input type="checkbox"/> 熱(37.5度以上)がある、熱っぽい <input type="checkbox"/> 咳、鼻水、咽頭の痛み、倦怠感などがある <input type="checkbox"/> 2週間以内に感染症患者との接触あり (退所日、退所先)
	年 月 日生 歳		
ご家族等	続柄	ア. 要介護3以上 イ. 障がい(身体・知的・精神・発達・内部) ウ. 難病 エ. 妊産婦・乳幼児	<input type="checkbox"/> 熱(37.5度以上)がある、熱っぽい <input type="checkbox"/> 咳、鼻水、咽頭の痛み、倦怠感などがある <input type="checkbox"/> 2週間以内に感染症患者との接触あり (退所日、退所先)
	年 月 日生 歳		
ご家族等	続柄	ア. 要介護3以上 イ. 障がい(身体・知的・精神・発達・内部) ウ. 難病 エ. 妊産婦・乳幼児	<input type="checkbox"/> 熱(37.5度以上)がある、熱っぽい <input type="checkbox"/> 咳、鼻水、咽頭の痛み、倦怠感などがある <input type="checkbox"/> 2週間以内に感染症患者との接触あり (退所日、退所先)
	年 月 日生 歳		
ご家族等	続柄	ア. 要介護3以上 イ. 障がい(身体・知的・精神・発達・内部) ウ. 難病 エ. 妊産婦・乳幼児	<input type="checkbox"/> 熱(37.5度以上)がある、熱っぽい <input type="checkbox"/> 咳、鼻水、咽頭の痛み、倦怠感などがある <input type="checkbox"/> 2週間以内に感染症患者との接触あり (退所日、退所先)
	年 月 日生 歳		

聞き取りメモ(職員記入欄) 記入者名()

安否確認のための問合せへの対応(氏名及び住所)に同意しますか?(同意する ・ 同意しない)

※この用紙に記入していただく情報については、食料や物資の配布、健康に関する支援などを行うため、区災害対策(警戒)本部や二次的避難先と情報を共有しますが、それ以外に使用致しません。